

閉会中の調査報告

福祉教育常任委員会

平成 24 年 4 月 20 日

出席 委員全員

健康福祉部長 子育て支援課長

教育部長 次長 生涯学習課主幹

所管事務調査

(1) 子育て支援事業に関する施策について（健康福祉部）

◎ つどいのひろば（社会福祉法人オープンスペースれがーと）

視察研修

法人の沿革、理念、事業概要、各事業別の運用、補助金制度、施設運営内容、利用状況等について説明を受けた。

- ・ 子育て拠点施設として平成 22 年度より事業開始
- ・ 0～3 歳までの子供・保護者がつどう場所で月平均 10 人、登録年間 200 人の親子に火～金、10 時～15 時の間解放
- ・ スタッフ 2 名 お話し会、読み聞かせ会、子育て相談等の行事をも実施
- ・ 参加することで悩みの相談や発達障害等の発見の窓口となり、親の安心感を生み出している

(2) 生涯学習施設に関する事項について（教育部）

◎ 雨山研修館 宿場の里 視察研修

施設の現状、利用状況、運営上の課題等、石部公共サービス社長能川氏より説明を受けた。

- ・ 合併前は宿泊研修も実施し、自然と触れ合いながら生き甲斐ある地域社会を形成する為の研修施設で、宿泊研修のウェイトが大きかったが、消防法の関係上宿泊は出来なくなった
- ・ スポ少を中心に自治会・部活等各種団体での利用がある
- ・ 運営的には利用者が増えれば増える程必要経費がかさむというジレンマに陥っている
- ・ 施設の真新しさ充実ぶりに目を見張らされ、この施設を積極的に活用しなければ勿体無いとの意見が多くあった
- ・ 官主導による講座等の開催が施設活用の充実につながるのではないかとこの意見もあった